

文化は手づくりから

陶芸家・江崎敏夫さん(50歳)は、岐阜県多治見市から、昭和45年、焼物とは無縁の富士市へ。市内では初めて入山瀬にゅうざんように入山窯を開窯。

陶芸活動を続ける傍ら「文化は家庭から」とその普及推進にも努力。昨年、第1回富士市教育文化奨励賞を受賞。



今 市内の救急医療は

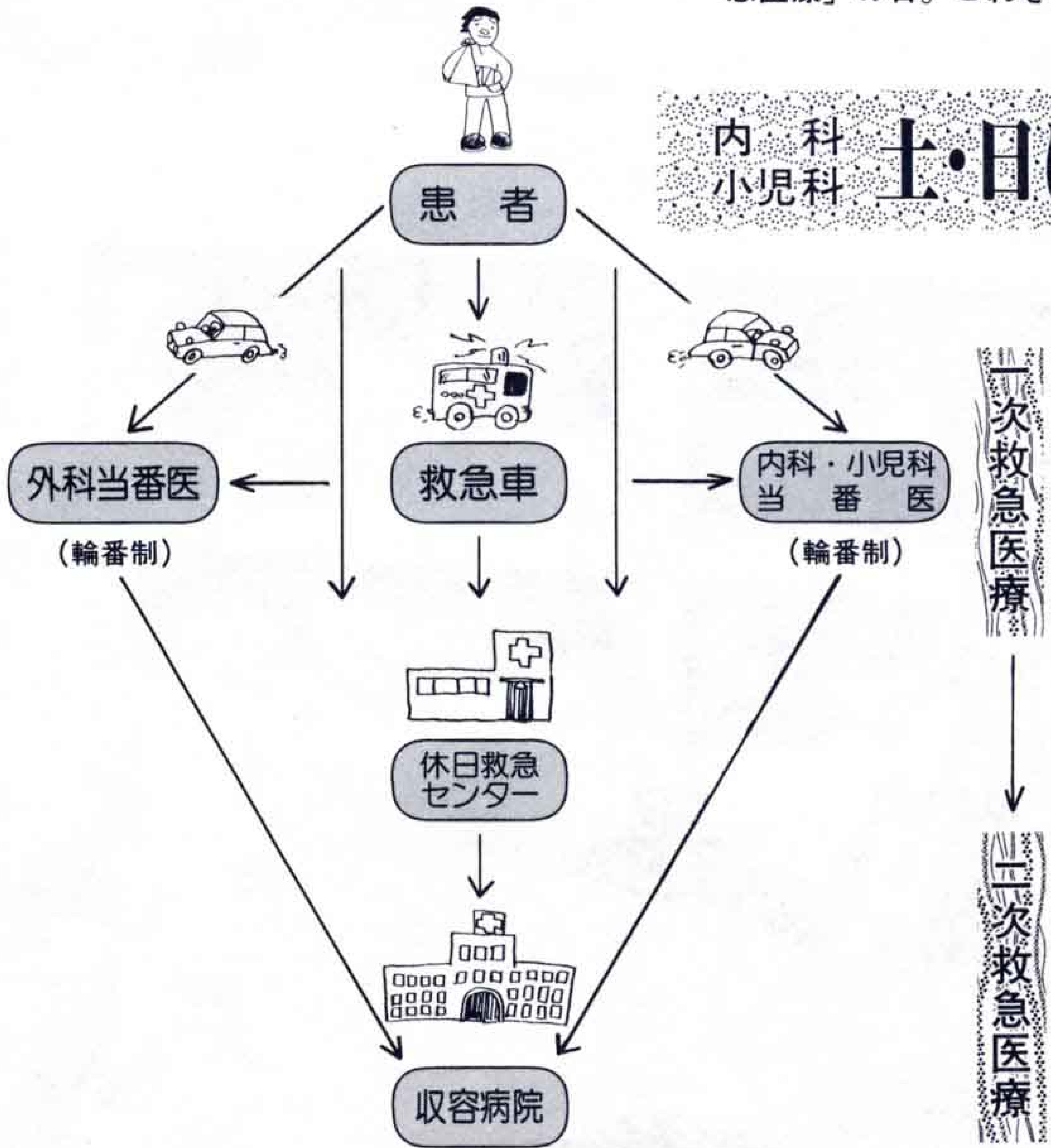
1年間に2万4,000人の救急患者が

夜中に急病人が出た！ 日曜日に大けがをした……。あなたは、このような経験をお持ちではありませんか。

医師会及び市は、このような急病人に対して、救急医療体制を敷き、その対応にあたっています。市内では、昨年1年間におよそ2万4,000人が救急患者として何らかの治療を受けています。9月9日は「救急医療」の日。これを機会に、救急医療について考えてみました。

富士市の救急医療体系

内科 小児科 土・日は医療センターで



初めに富士市の救急医療体制についてふれてみます。

まず、左の図をご覧ください。市内の救急医療体系は、一次救急と二次救急に分けられます。一次救急とは、入院措置を必要としない場合をいい、二次救急とは、入院措置を必要とする場合のことをいいます。

一次救急の医療体制については、左下表のとおりです。内科・小児科については、平日の夜間は開業医が輪番制で行い、休日と土曜日の午後からは、長者町の医療センターで行っています。時間については、医療センターの場合は、休日が午前9時から午後10時まで、土曜日が午後2時30分から午後10時までです。

外科については、平日の夜間、休日の昼夜とも開業医の輪番制となっ

科別	当直日	医療機関
内小児科	・休日の昼夜 ・土曜日の午後夜間	医療センター
	・平日の夜間	開業医の輪番制
外科	・休日の昼夜間 ・平日の夜間	〃
産婦人科	・休日の昼夜間	〃
耳鼻科・眼科	年末年始のみ	〃

医療センター		市内医療機関		中央病院	
日曜日	土曜日	外科 輪番制	内・小児科 輪番制	外科 整形外科	内科 小児科
8,600人	2,100人	7,500人	2,000人	1,300人	3,200人

ています。産婦人科については、休日の昼夜が開業医の輪番制となっています。

入院措置を必要とする二次救急については、内科・小児科は平日の夜間、休日の昼夜とも市立中央病院外、6病医院が輪番制で行っています。

外科については、平日の夜間、休日の昼夜とも市立中央病院です。

多い幼児の急患

次に、市内における昭和57年度の救急患者数をみてみます。

2ページ右下の表をご覧ください。

一年間におよそ2万4,000人が、救急患者としていずれかの医療機関で診察を受けています。これは実に、市民の10人に1人以上の割合となります。医療機関別の患者数では、内科・小児科が医療センターで、外科が市内の医療機関で最も多く受けています。

特に、医療センターでは日曜日の救急患者が8,600人と多く、これを病名別でみると、風邪などによる上気道炎が半数以上の4,300人、消化器疾患が1,000人、気管支炎・肺炎が800人となっています。

年齢構成では、1歳から6歳までの幼児が3,300人と最も多く、次いで



救急車の利用は1日平均6.8件

15歳から60歳までの2,500人、7歳から14歳までの学童が1,800人となっていますが、1歳未満の乳児も800人以上いました。これは、市内の医療機関でも同じで、最も多いのが1

歳から6歳までの幼児となっています。このようなことから、特に幼児をお持ちの家庭では、日ごろからかかりつけの医師をつくっておくことが大切です。

増え続ける救急車の利用

昨年は2,400件の急患を搬送

次に、救急活動についてふれてみます。

市内には、救急車が市役所敷地内の消防署と、富士・鷹岡線添いの西分署の2カ所に配置されています。

消防署では119番を受けると、ただちに指令を出し救急車を現地に出勤させます。

昨年一年間に2,485件の救急患者を搬送しました。

これを事故別内容でみると、一般的な急病が最も多く1,094件、次いで交通事故の741件、一般負傷の254件となっています。

1日平均にすると、6.8件になります。

また、救急患者数を症状の程度によって区分すると軽症1,291人、中等症942人、重症395人、死亡50人となっています。

最近4カ年の救急患者の

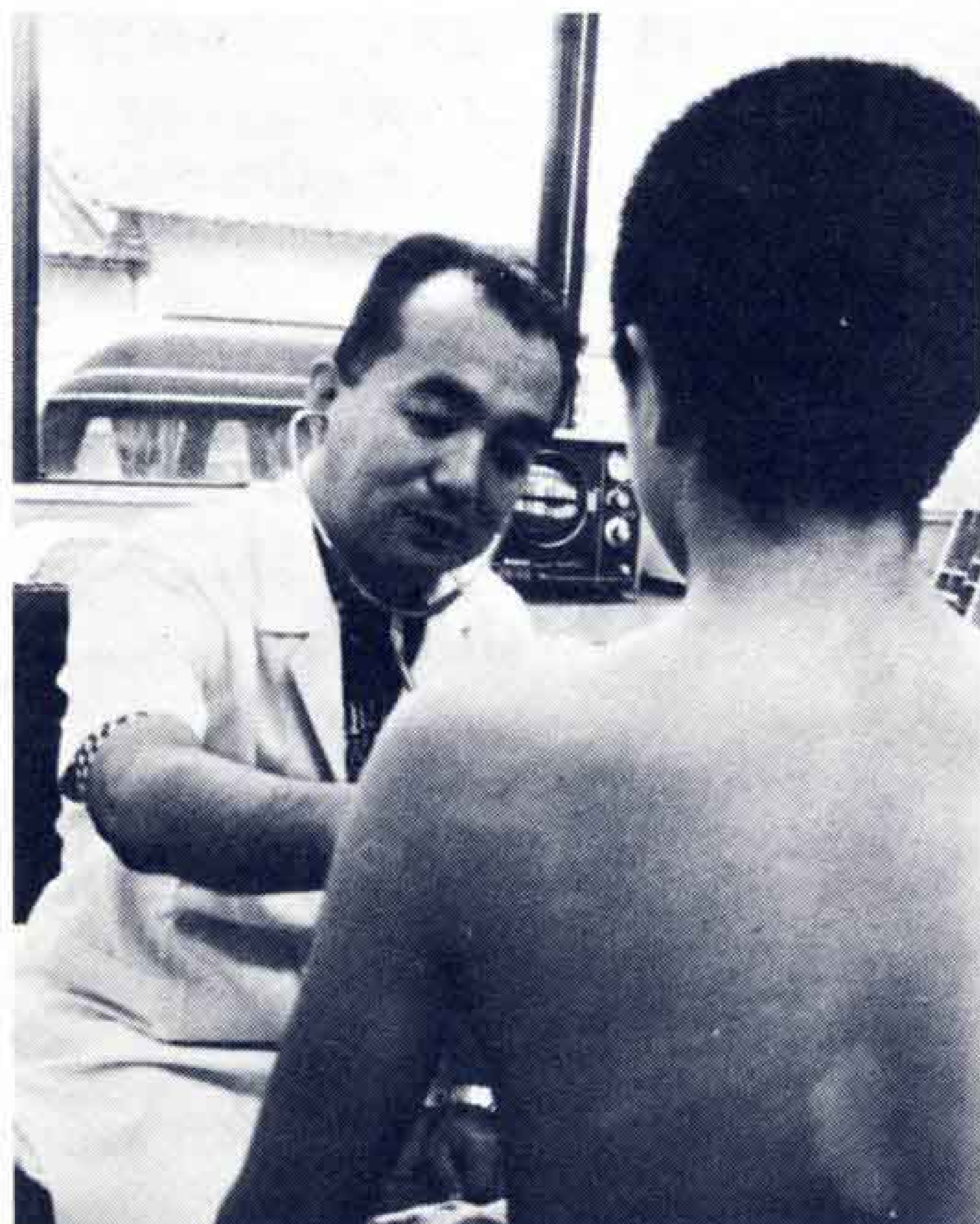
搬送件数をみると、昭和53年が1,927件、54年が2,040件、55年が2,248件、56年が2,413件と、その件数は年々増えています。

安易な利用はやめて

救急車の利用については、火災や地震、交通事故などによって生死にかかわるような場合、また、ガス中毒やケガなど屋内で生じた事故で、他に適当な搬送手段がない場合に限るとされています。

消防署では、「救急車をマイカーやタクシー代わりに使うことは、絶対にやめてほしい」と呼びかけています。

思わぬ事故や病気はいつ起こるかわかりません。そのためには、日ごろから健康管理や事故防止の心がけを持つことが必要と同時に、家の近くで、いつでも相談できる医師をつくっておくことも大切なことです。



医療センター(長者町☎52-3104)には年間1万人の急患が

あなたの考え・意見・提案が心と心を結び

お便り

コーナー



防災7つ道具を前に鈴木さん



大塚さん

8月8日の地震では、市内全域にわたり、停電、断水とわたしたちの生活がみだされ、地震のこわさを思いしらされました。災害の未然防止、被害の軽減をはかるには日ごろからの備えが大切です。我が家の防災対策はこのようにしていますというお便りをいただきました。

あなたのお便りを

お寄せください

このコーナーは、皆さんの意見交換の場とさせていただきます。テーマに基づいた、あなたの意見や提言などを、どしどしお寄せください。

お便りをお待ちしています。

◇応募される人は原稿用紙へ300字程度にお書きください。趣旨を変えないで原稿を直すことがあります。住所・氏名・年齢・連絡先を忘れずにお書きください。

◇送り先は——市役所広報広聴課 〒417 永田61-1

原稿締切日は、毎月15日です。



読書の秋です。あなたと本との出会いは…

我が家の防災対策

今月のテーマ

関東大震災を体験

鈴木 清さん

天間北(70歳)

地震に対しては、まず“自分の身は自分で守る、ということが第一です。地震発生を予知することは、大変むずかしいことです。国の地震予知連絡会というのもあまりあてにはできません。

地震が発生した場合は、“まず火を消せ、といわれていますが、揺れている時は、机とかテーブルに身を寄せ、揺れがおさまったら、す早く行動することです。

子どものころ、私は東京で関東大震災を体験しました。大震災というと、大火による被害ということになりますが、ある地区だけは火災が発生しなかった。なぜかという、地

テーマ

■ 10月は「私と本との出会い」

秋の夜長に読書を——テレビ社会活字離れの時代といわれる中で、こんな言葉は、遠のいてしまう感さえあります。

しかし、私たちにとって本は、夢や希望、知識を与えてくれるばかりでなく、人生観さえ変えることもあります。

そんな中でのあなたと本との出会いをお便りください。

テーマ

■ 11月は「我が家の味・自慢料理」

食欲の秋——。わたしたちの食生活は、食料不足の時代から満ち足りた時代へと変化してきました。

特に最近では、手数のかからないインスタント食品、冷凍食品が多く普及されています。味の伝承は、いわゆる「おふくろの味」で伝えられる家庭料理が持ち味です。

我が家の味、自慢料理はこれですというお便りをお待ちしています。

震発生でほとんどの人たちが逃げたのに対し、その地区の人たちだけは、力を合わせて救助活動や消火活動をしたからなんです。なんとといっても、日ごろの訓練や心構えが大切です。

私の家では、非常持出品、避難用具は玄関に置き、外へ出る時の通路も決めてあります。

水の確保が大切

風岡三枝子さん

上横割(34歳)

我が家で、防災対策を本格的に考え始めたのは、ちょうど東海大地震説が騒がれた頃でした。

まず第一に考えたのは、水を確保しなければということでした。

ある程度の量の水を常時確保するには、保存のきく水でなければと、黒部溪谷から流れ出る水が、健康にも良く保存もきくということを知り、毎年一度、富山県まで水をくみに行き、この水を20ℓのポリ容器3本に常時、確保してあります。

このおかげで、8月8日の地震による断水にも我が家では困りませんでした。このほか、非常袋を三袋用意し、一つは食料品、一つは衣類、

一つは雑用品類と分けて入れてあり、どの袋を誰が持つかをあらかじめ決めてあります。

もちろん中身の入れ替えも年2回点検を兼ねてやっています。

また防災頭巾も住所、名前、血液型を記入した布を縫いつけ、一階と二階にそれぞれ用意し、家のどの場所においてもいざ地震という時には、かぶれるようにしてあります。

いずれにしても、自分達の事は自分達で守るという姿勢と、日頃の備えが必要だと思います。



避難体制完了の風岡さん親子

一づくりに力を入れています。

また、私達の地域では、住民の75%が共働き世帯のため、昼間の災害時には、大人の手が足りません。

いくら訓練を積んでも実際に即した訓練でなくては役に立ちません。

そこで、3年前から比較的帰宅が早い中学生を中心とした訓練を実施し、これを大人が指導、補佐するという内容にしています。地域の連帯感を深めること、これが防災対策のうえで大切ではないでしょうか。

コミュニティづくりを

大塚芳郎さん

広見9防災会長(62歳)

私は、防災対策はまず地域のコミュニティづくりから出発すべきだと考えています。

災害時には、隣近所はもちろんのこと、地域全体が協力しあわなければ何もできません。そこで私達の地域では、いろいろなリ克雷ーション活動を通じ、住民間のコミュニティ

観光バスで 富士の案内を



坪井 恵美子さん
厚原西(19歳)

プロフィール

今年の3月、バスガイドになるため、横浜市から富士市へ。現在、富士急行鷹岡営業所へ籍をおくバスガイド一年生。どんな年齢層からも好かれるようなガイドになりたいというフレッシュなお嬢さん。

坪井 歌が大好きですし、いろいろな所へいろいろな人と行けるので……。
坪井 もう全国をまわりましたか
坪井 まだ新米ですので富士五湖とか箱根とかこの周辺ですが、徐々に遠まわりがふえてくると思います。
坪井 さて横浜というと大都会ですが
坪井 私の住んでいたのは、緑区といって横浜市の郊外ですから山も近く、緑も豊富で自然環境に恵まれている所です。
坪井 自然環境といえば富士市もひけはとりませんが
坪井 そうですね。富士山はすぐそばだし海も近くすばらしい所ですね。何か共通点があるような気がします。
坪井 富士市の印象は
坪井 川がとてもきれいで空気もいいですね。それに両親の実家が清水市で富士と近いせいか親しみを感じていました。
坪井 行政へ望むことは
坪井 職業が道路が狭いのが気になります。市内のどこへでも観光バスが入れば富士の名所も案内できますが。

「ふじ21世紀プラン」に向けて

「第三次富士市総合計画」の作成準備に

市は、21世紀をみざした新しいまちづくりプラン「第三次富士市総合計画」の策定準備にとりかかりました。

これは、オイルショック以後、経済成長の鈍化や行政改革の推進、また、人々の価値感が物から心へ移行する中で、現総合計画が昭和60年をもって終了するため、新たに作成するものです。

新計画は、市民が健康で安全、快適な生活を営めることを基本姿勢に、昭和61年から75年までの施策を定めるものです。

昭和75年までを目標

昭和61年度をスタートする「第三次富士市総合計画」は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」をもって構成されます。

基本構想では、富士市が目ざす総合的な基本理念を示し、21世紀へ向けての将来像及び施策の大綱を明らかにします。

基本計画では、施策の大綱を具現化するための基本的施策を定め、計画期間は昭和70年を目標とする10年間とします。

実施計画では、向こう3ヵ年を期間とするローリング方式により、具体的な事業計画を定めます。

新計画策定の手順としては、計画

策定委員会の設置を始め、計画策定への市民参加、総合計画審議会への諮問、答申、基本構想の議決、市民への計画公表とすすみ、計画の推進として昭和61年度予算へ反映していきます。

市民参加によるまちづくりを

特に今回は、市民参加による計画づくりとするために、地区別の「まちづくり会議」や「総合計画を考える市民の集い」、「各界代表による意見を聴く会」などを開いていきます。

市は、すでに8月中旬に「市民アンケート意識調査」を実施しており、今後は、「総合計画プロジェクトチーム」を設置し、計画づくりの具体的な作業に取り組んでいきます。



富士市の表玄関が整備

9月完成予定の富士駅北口広場

富士市の玄関として整備事業がすすめられてきた富士駅前北口広場の完成がいよいよ目の前にせまってきました。同駅前広場の整備事業は54年8月着工以来4年の歳月をかぞえましたが9月半ばごろには、一般への供用開始ができることになりました。

また、駅前ビルも9月下旬にはオープンの手配ということで、21世紀に向けての新しい街づくりにふさわしい駅前広場となります。



整備された富士駅前広場



最高齢者の佐野さん(99歳)



米寿を迎える大神田さん(88歳)



金婚式を迎える窪田さんご夫婦

おじいちゃん おばあちゃん 健康で長生きしてね

敬老会対象者は9,378人

9月15日の「敬老の日」を中心に、今年も各地区で敬老会行事が行われます。(行事の日程については、8月25日発行の広報ふじで、お知らせしました。)

今年の敬老会対象者は、大正元年9月15日以前に生まれた71歳以上のお年寄りです。市内には、71歳以上のお年寄りが9,378人います。

これを年代別、性別にみると、71歳から79歳までが、男2,924人、女3,964人で計6,888人、80歳から89歳までが、男810人、女1,486人で計2,296人、90歳から99歳までが、男53人、女141人で計194人となっています。

市内の最高齢は99歳

市内の最高齢者は、昨年ひきつづき、平塚268-1に住む、佐野はるさん(明治17年9月2日生)99歳です。

また該当者で、寝たきりのお年寄りは301人います。寝たきりのお年寄りには、地区担当の民生委員から市長の色紙をそえて、慰問品を贈ります。

敬老会では、80歳以上の方に祝金、88歳の米寿をむかえたお年寄りに、肖像画と祝金、90歳以上の方に、ポアシートと祝金が贈られます。

金婚式は227組が

人生の苦楽を、相たずさえ、ともに味わってきた、結婚50年の金婚式を迎えるご夫婦は、吉原本町1、窪田英二さん(78歳)智恵さん(72歳)他226組あります。

長年にわたり、社会のために尽してきたお年寄りを敬愛し、長寿を祝うとともに、理解と関心を深め、また、お年寄り自身が、いつまでも健康で、明るく楽しい生活が送れるような社会づくりに、わたしたちも努力しましょう。

お年寄りに生きがいを シルバーセンターの会員になりませんか

まだまだ働けるのに、仕事がない働く事は、ボケを防止し、健康のためにも、また、老後の生きがいとして大切な事です。

健康で働く意欲のある人は、自分の経験と能力を生かしてみませんか。

富士市シルバー人材センターでは一人でも多くの人に会員になってほしいと、市内のお年寄りに呼びかけ

ています。

働くことに喜びを求める60歳以上の方ならだれでも会員になれます。

受付け日時は次のとおりです。

◇日時 毎週水曜日9:00~15:00

◇申込み問合せ先

高齢者事業団、富士市シルバー人材センター (公共職業安定所前)

☎53-1150

あなたの技能を生かしては

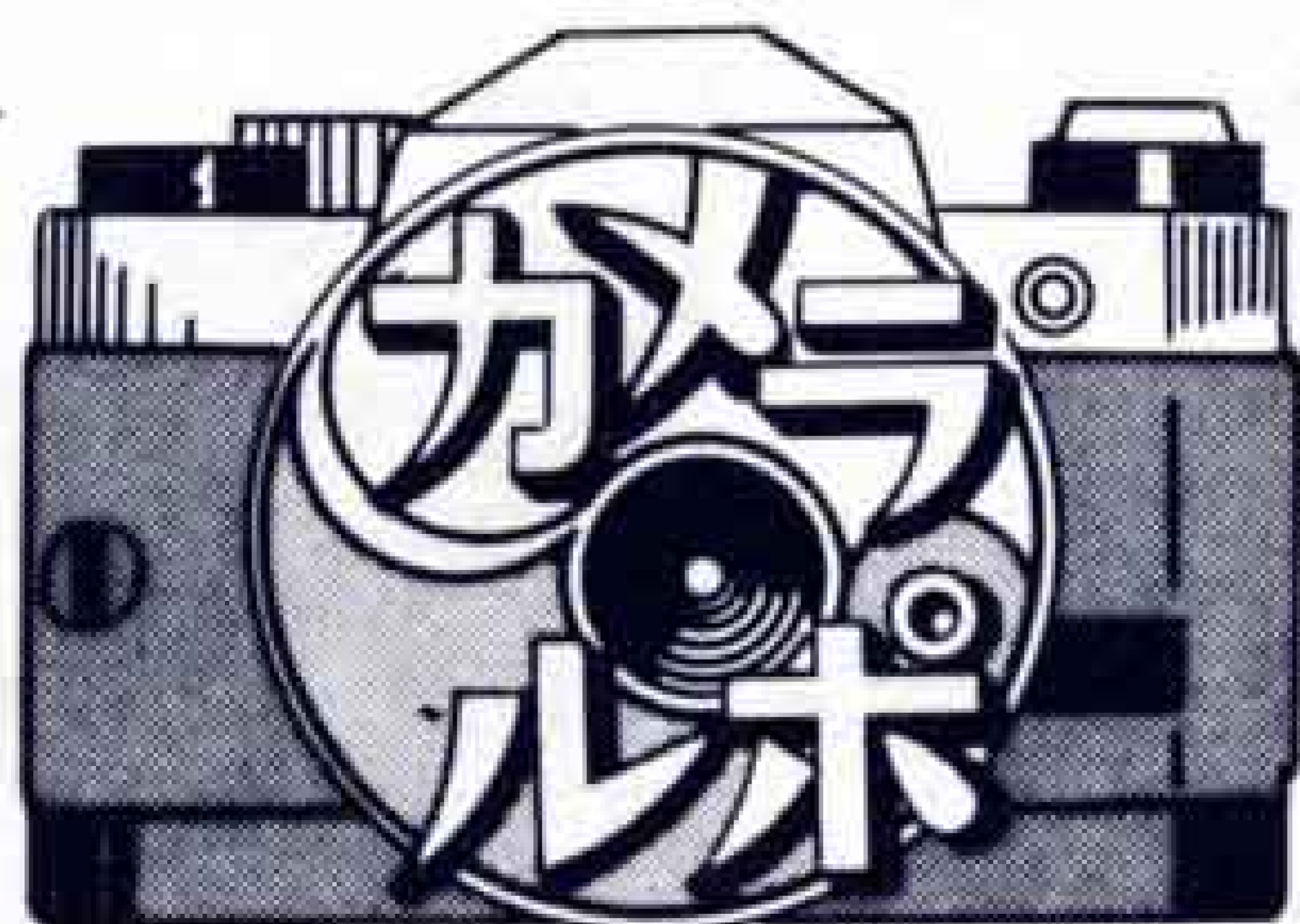


私たちの

地元町内会・きれいにする会



△永明寺横の自然公園予定地を清掃



市内随一の湧水量を誇る滝川をきれいにしよう——と、8月7日の日曜日、滝川町内会及び富士市をきれいにする市民運動推進連絡協議会は、滝川清掃活動を行いました。

この日参加したのは、地元の人々ときれいにする会々員、約350人。参加者は、それぞ

れカメラやスコップを手に、午前8時滝川橋へ集合し、町内会代表及び、きれいにする会々長のあいさつを聞いたあと、斉藤橋から原田橋までの間を清掃。あきかんやごみ捨て、草取りなどで、11時ごろまで汗を流しました。

清掃後は、子どもたちの手によってニジマス300匹が放流されました。

きれいにする会の石田 潔会長は「地元の人たちと一緒に活動できたことをうれしく思います。これからも、清掃活動を通して、「捨てない、拾う」という気持ちを、市民運動として育てていきたい……」と話していました。

誇れる川に

が滝川を清掃



△午前8時、滝川橋に集合



▷作業開始前のカマを持つ手にも力が



△これも川のゴミ



△清掃後はニジマスを放流



体育の日記念事業

いい汗流そう

市の施設を無料開放

市教育委員会は、あなたの健康、体力の維持増進のために、体育の日を記念して、市の体育施設を無料開放します。体育の日に「いい汗」を流してみませんか。

- ◇とき 10月10日(月)
- ◇内容 自由に汗を流す(指導員がアドバイスします)
- ◇対象 全市民(特に初、中級者)
- ◇参加料 無料(ただし1日スポーツ保険料100円)
- ◇申込み 10月7日(金)までに市スポーツ振興課(〒417 市内永田61-1)へ、ハガキで申込んでください。☎51-0123 内線457

※詳しくは、市スポーツ振興課へたずねてください。

◇種目、会場

- ・卓球教室 10:00~15:00 市立体育館
- ・軟式庭球教室 10:00~15:00 厚原スポーツ公園
- ・バドミントン教室 10:00~15:00 勤労者体育センター
- ・ジョギング教室 9:00~12:00 陸上競技場
- ・歩け歩け大会 9:00 吉原駅南口へ集合

住宅ローン説明会と申込み受付

勤労者の持家建設の援助資金として住宅資金の貸付けをします。

- ◇説明会 9月13日(火) 吉原市民会館 18:00~
9月14日(水) 富士文化センター 18:00~
- ◇募集期間 9月20(火)~9月22日(木)10:00~16:00
市役所2階ロビーで申込受付

- ◇貸付額 300万円以内
- ◇貸付期間と利率
5年の場合は150万円まで年6.00%
10年の場合は300万円まで年6.00%
15年の場合は300万円まで年6.12%
20年の場合は300万円まで年6.12%

◇貸付条件

- (1)市内に1年以上在住する勤労者で、市内に住宅を新築、増改築あるいは土地、建物を購入する人
- (2)住宅の建築面積は50平方メートル以上、120平方メートル以下。
(増改築の場合も既存部分を含めて総面積が120平方メートル以下。ただし、次のいずれかの場合は165平方メートル以下)
(イ)60歳以上の老人とその親族が同居する住宅
(ロ)6人以上の多数の親族が同居する住宅
(ハ)心身に障害がある人とその親族が同居する住宅
- (3)宅地購入の場合は、その面積が100平方メートル以上330平方メートル以下で、貸付の日から5年以内に住宅を建築できる人。
- (4)新築、増改築の場合は、2月末までに着工し、6ヶ月以内に完成できる人、土地、建物購入の場合は、3月末までに売買登記が完了できる人。

住宅統計調査にご協力を

10月1日現在で住宅統計調査が行われます。この調査は「住宅の国勢調査」といわれる大規模な調査で、国や県、市の住宅建設計画、都市計画などの資料として広く利用されます。

調査対象となった世帯には、9月22日から調査員が調査票を持って世帯を訪問しますので、ご協力をお願いいたします。

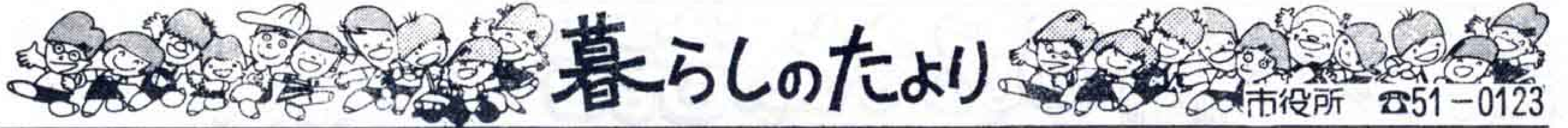
- ◇問合せ先 市広報広聴課 ☎51-0123 内線527

緑と花の百科展



- ◇とき 10月9日(日)8:00~15:00(雨天決行)
- ◇ところ 市役所北側駐車場

庭木、花木、草木、盆栽等、2万点以上を出陳し、緑を育てるのに必要な園芸用品(鉢、肥料)も即売します。価格は1,000円前後が主で相当大きな木も用意します。又、緑と花の相談所を開きますので草花の植え方、育て方等、緑と花のあらゆる相談ができます。



絵画展と作品の募集

- ◇とき 9月23日(金)～25日(日)
- ◇ところ 吉原市民会館
- ◇種目及び寸法・体裁
 - ・一般の部 (満16歳以上で市内在住、在学又は在勤者)
 - ・日本画、洋画、版画、グラフィックデザインで10号～30号以内。作品は額装でガラスをはずして出品。
- ◇搬入 9月19日(月) 9:00～19:00 吉原市民会館
- ◇出品点数 1人1点
- ◇出品料 500円
- ◇問合せ先 市文化振興課 ☎51-0123 内線610

海上保安官を募集

- 海上保安庁は、海を守る海上保安官(男・女)を募集します。
- ◇募集期間 9月16日(金)～29日(木)
 - ◇募集内容 海上保安大学校(4年)
海上保安学校(1～2年)
 - ◇受験資格 大学校21歳未満・学校24歳未満で高等学校卒業者又は来春卒業見込者及び同等の資格がある人
 - ◇募集人員 大学校50人 学校各科で計140人
 - ◇問合せ先 清水海上保安部 ☎(0543)52-0156又は同田子の浦分室 ☎32-0154

富士山写真展を開催

- 市立博物館は、富士山の美しさを市民のみなさんに知ってもらおうと、「富士山写真展」を開きます。
- ◇とき 9月20日(火)～11月3日(木)
 - ◇ところ 市立博物館

苗木をあっ旋します

静岡県さくらの会(会長 山本敬三郎)では、さくら100万本植樹運動を展開していますが、この運動の一環としてさくら等苗木のあっ旋をいたします。あなたの家庭にも植えてみませんか。

苗木は接木の1年生(400円～500円) 2年生(1,000円～1,500円)で品種は、さくらが関山外11品種、花桃が黒川矢口外4品種、花梅が八重寒紅梅外4品種です。

苗木を希望する人はみどりの課(内333)へお問い合わせ下さい。

- ◎苗木申込先 市みどりの課
- ◎申込締切日 9月30日
- ◎配布予定日 11月中旬

いっせい防疫

月日	午前	午後
9月14日(水)	富士岡町三 東比奈町一	東比奈町二 東比奈町三
16日(金)	中比奈町一 中比奈町二 中比奈町三	西比奈町一 西比奈町二 西比奈町三
19日(月)	東滝川町 南滝川町	西滝川町 北滝川町
20日(火)	原田町一 原田町二 原田町三	原田本町 宇東川本町
21日(水)	予備日	予備日
22日(木)	宇東川町一 宇東川町二 御殿	宇東川町三
26日(月)	三ッ沢町1 三ッ沢町2 三ッ沢町3	吉原中島一 吉原中島二
27日(火)	吹上 木の宮町	田宿 寺市場
28日(水)	富士見台1 富士見台2 富士見台3 富士見台4 富士見台5 富士見台6	富士見台3 富士見台4 富士見台5 富士見台6
29日(木)	市場町 立小路 栄町 富士見町	一の宮町1 一の宮町2 一の宮町3
30日(金)	鍛冶町一 鍛冶町二 鍛冶町三	水の上 西木の宮町

9月の休日当直医

- ◇9月11日
 - 外科 藤井医院 61-7811 松岡
 - " 吉原病院 52-0780 南町
 - 産婦人科 米山病院 52-3060 吉原4
 - 柔道整復 藤原接骨院 21-3309 神戸
- ◇9月15日
 - 外科 神谷医院 61-5900 川成島
 - " 渡辺病院 51-3751 錦町1
 - 産婦人科 長野医院 61-1907 柚木

- 柔道整復 丸山接骨院 61-4720 森島
- ◇9月18日
 - 外科 中央病院 61-8800 本市場
 - " 石川医院 52-1985 浅間本
 - 産婦人科 遠藤医院 52-1941 吉原3
 - 柔道整復 本多接骨院 53-8841 中央1
- ◇9月23日
 - 外科 佐野整形 71-6200 天間
 - " 芦川病院 52-2480 中央2
 - 産婦人科 中央病院 61-8800 本市場
 - 柔道整復 田辺接骨院 61-5490 柚木
- ◇9月25日

- 外科 渡辺整形
クリニック 61-0655 川成島
- " 吉田外科 51-2515 石坂
- 産婦人科 望月医院 34-0445 西比奈
- 柔道整復 中村接骨院 61-1073 横割
- ※内科・小児科は医療センター☎52-3104で、歯科は歯科医師会館☎53-5555で行います。
- ◇当直医の問合せ先
平日の夜間及び休日当直医の問合せは、市役所北口警備員室☎51-0123又は、消防署☎51-0105へ。

ふるさとのお話

ちょう づか さん

落合の帳塚様

大淵落合町の小高い丘に「帳塚様」と呼ばれている碑が建っています。

これは、今から200年程前この地方に飢饉ききんがあったとき、自分の身の危険も顧みず、年貢を軽くしてくれと、代官所に願い出て、死罪となった落合の名主新右衛門を供養したものです。



新右衛門の末えいにあたる勝亦まつ江さん(63歳)

四ヶ村が施主となり新右衛門の家の近くに訴状の下書、血判状の控、その他書き綴った帳面を埋めて碑を建て、帳塚と呼び供養しました。

新右衛門の末えいにあたる勝亦まつ江さんは、数年前まではよく帳塚さんの掃除に行っていましたと語ってくれました。



新右衛門の供養塔「帳塚様」

じきそ 直訴で打首に

江戸時代の農民は年貢が厳しく、飢饉ききんがあると生きることも困難でした。

落合の名主新右衛門は、日頃から村の作高と年貢の関係を詳しく帳面につけ、年貢が支障なく納められるよう調べていました。

この地方を襲った飢饉の時、新右衛門はこの調査に基づいて年貢を軽くしてもらいたいとの訴状を書いて代官所へ願い出ました。

しかし、直訴の罪でよく調べもせず打首となりましたが、あとで持参の書類を見た役人は、これは殺す男ではなかったと悔やんだといひます。

新右衛門の犠牲によってその後村の年貢は軽くなり、それから数十年たつて、落合、中野、片倉、三ッ倉の

郷土の

遺跡

西平第1号墳出土 わらび て とう 蕨手刀



伝法の西平第1号墳からは、蕨手刀わらびてとうと呼ばれる刀が出土しました。この刀は、古墳時代の終り頃から奈良時代にかけて盛んに造られた刀で、柄頭つかがしら(柄の端)が渦状となり、蕨の若芽に似ていることから付けられた名前です。この蕨手刀は主に東北地方から北海道にかけて多く出土するため、当時、朝廷によって行われた蝦夷征討に使われた刀といわれています。

この時代は、いままでの豪族による支配から、朝廷の直接支配に変わる律令社会への過渡期で、富士郡のように大きな混乱もなく律令社会へ変わったものと、九州や東北、北海道のように内乱を起すものがありました。

特に東北、北海道では内乱が激しく、朝廷ではこの征討を東海や北陸地方の豪族に命じ、これに必要な蕨手刀などの武器を与えました。西平第1号墳の被葬者もこの蕨手刀を持ち、軍を率いて遠く東北や北海道に出兵したことでしょう。

地名の由来

大 淵



明治22年3月1日大淵村と中野村が合併して大淵村が誕生しました。

大淵という地名は、伝説では頼朝が富士川の巻狩のとき、この付近で乗馬のムチを探させた事からムチがブチに転訛したのだとしています。

大淵村は武田の遺臣小山氏が、中野村は秋山氏の開拓した村だと言われていますが、曾比奈地区や三ッ倉地区はもっと古く開拓されたようです。